



令和5年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰受賞校

*カラーのおたよりが読みたいひとは、ホームページをみてください。

11月



しもつき
霜月

こんげつ

今月のテーマ：

ぜんごう

さつどくは

全校で1000冊読破チャレンジ！

しあわせルール

し・・・しずかに
あ・・・あそぼない
わ・・・わすれない
せ・・・せいりせいとん

11月17日からはじまった読書週間！！

今年も本の国へ図書委員会のみなさんと一緒に読書くじびきをやっています。

あわせて、全校で1000冊読むことにチャレンジしています。ひとり4冊読めば目標を達成できます。

本を読むと想像力が豊かになり、よりよく生きるためのヒントを見出すことができます。

みなさん、がんばりましょう。



中区ブックフェスタ開催！！

各クラスすでに体験の時間をとっていますが、いよいよ、11月29日(水)は「中区ブックフェスタ」本番です。

今年は3年1組のみなさんと学校図書館のコラボ企画です。本牧のまちを「にこにこにするために」総合的な学習の時間を通して、子どもたちが主体となって取りくんできました。

ぜひ、子どもたちの生き生きと活動する姿を見に来てください。

詳細はホームページなどをごらんください。

魚の読み方クイズ

(こたえは裏面にあります。)

今年度は魚貝類の読み方をクイズにだします。

では、さっそく・・・



「鯒」

・・・は何と読むでしょうか？

シトリンプロジェクトとは・・・

いままで取りくんできた「学校・家庭・地域の和」を大切にしながら、心や体の特性・環境に関係なく、だれもが本などの情報に親しみ、未来をより良いものに創造していくためのプロジェクトです

「シトリンプロジェクト

スタートブックリスト vol.1」が完成

ブックフェスタで配布します！！
(人権・福祉・SDGs・多文化共生の観点で選書された心に響く本のリストです)

りんごの冊もバージョンアップしました

～懐かしい教科書シリーズ第42弾～

『てぶくろを買いに』 新美南吉 作

人間にひどい目にあわされた母ぎつねは、どうしてもてぶくろを買いに行くことができません。母ぎつねは、てぶくろを欲しがる子ぎつねの片方の手を人間の手に変えて、子ぎつねを人間の住む町へおつかいにだします。しかし、子ぎつねはまちがえて自分の本当の手を出してしまいます。さあ、子ぎつねはどうなるのでしょうか？

この作品は新美南吉が20歳のときに書いたものです。彼は、その前年、19歳のときに、今も4年生の教科書に載っている『ごんぎつね』を書いています。

図書室には「新美南吉コーナー」があります。ぜひ読んでみましょう。

今月のおすすめの絵本

「バスが来ましたよ」

由美村嬉々 作・松本春野 絵 アリス館 (2022年)

目の病気になって失明した男性の実話を元に絵本化されたものです。

数年前に新聞にも載りました。

地元の小学生に助けられながら続けたバス通勤。

「バスがきましたよ」という小さな女の子の声は、優しさのバトンとなって、その後も続いていきます。

小さなひとこと、小さな手。それが大きな感動の波になって心の中に広がります。

シトリンプロジェクトをスタートするきっかけになった素敵な絵本です。

心からの本当のやさしさは、まわりの人の心も動かします。ぜひ、ご家族でもお読みください。

「シトリンプロジェクト スタートブックリスト VOL.1」にもピックアップしています。



魚の漢字クイズ のこたえ!!



「鮒」は・・・

「いなだ」と読みます!!

ロイロノートで配信の「シトリン通信」もぜひごらんください。(3年生以上に配信しています。)

4年生が「新美南吉にささげる愛と悲しみのビブリオバトル」にチャレンジしています! たのしみですね。

いちにち 1SDGs

わたしたちにできること

11月の主な行事

ユネスコ憲章記念日

世界こどもの日

文化の日・勤労感謝の日

性の健康週間

・・・などがあります。



12月は「本と音楽のコーポウイーク」があります! おたのしみに!!

